

# 北部機械金属業界の景況動向

(2010年4～6月実績/2010年7～9月見通し)

○ 調査対象：舞鶴市以北3市2町の機械金属関係企業125社 【調査時点 平成22年6月下旬】

○ 回答数：80社（内訳は以下のとおり）

① 市町別 = 舞鶴市 17、宮津市・与謝野町・伊根町 13、京丹後市 50

② 業種別 = 一般機械 25、電気機械 6、輸送機械 15、精密機械 23、その他 11

(区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等

電気機械…家電部品、電子部品等

輸送機械…自動車部品、船舶等

精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等

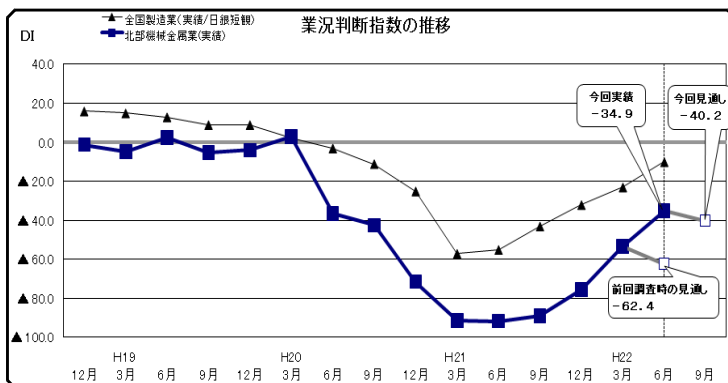
③ 従業員数別 = 10人未満 28、10～50人未満 33、50人以上 11、不明 8

※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：財団法人京都産業21北部支援センター】

## － 調査結果 －

### 1 景況動向判断

- 4～6月実績のDI（業況判断指数）は、依然マイナス域ではあるが、-34.9となり2年前の平成20年6月期（-36.4）の水準にまで回復した。前回調査（1～3月分。以下「前回」という）の-53.2と比較すると、18.3ポイント上昇し、過去最低値を記録した昨年6月期（-91.6）以降4期連続の改善となった。地域別では、舞鶴市域が-52.9（前回-42.9）、宮津市・与謝2町域は-46.2（同-25.0）と悪化した一方で、京丹後市域のみ-26.0（同-62.7）と36.7ポイント回復した。全体的にはDI値は上昇しているが、地域により景況感に差異が見られる結果となった。注：DI = （非常に良い+良い） - （非常に悪い+悪い）
- 業種別では、前回唯一プラス域であった電気が-50.0（前回16.6）と大きく落ち込み、輸送は-46.7（同-42.8）と僅かに悪化した。一方で、一般が-44.0（同-77.8）、精密が-13.0（同-55.4）と約30～40ポイント大幅に改善し、その他は-36.3（同-41.6）とやや上昇した。
- 7～9月見通しのDIは、-40.2（前回-62.4）となり22.2ポイント上昇した。業種別では、一般が-33.4（同-73.9）、精密が-22.6（同-72.2）で大幅な上昇の見通しとなったが、電気が横這い、輸送、その他では悪化を見込んでいる。大手では景況感の上昇が見られるが、北部地域においては慎重な見方が続いている。



| 業種  | 非常に良い | 良い  | 普通   | 悪い   | 非常に悪い |
|-----|-------|-----|------|------|-------|
| 全体  | 5.0   | 6.8 | 37.5 | 41.2 | 7.5   |
| 一般  | 4.0   | 8.0 | 32.0 | 48.0 | 8.0   |
| 電気  |       |     | 50.0 | 50.0 |       |
| 輸送  | 13.3  |     | 26.7 | 46.7 | 13.3  |
| 精密  | 13.0  | 4.4 | 52.2 | 21.7 | 8.7   |
| その他 | 18.2  |     | 27.3 | 54.5 |       |

| 業種  | 非常に良い | 良い   | 普通   | 悪い   | 非常に悪い |
|-----|-------|------|------|------|-------|
| 全体  | 1.3   | 11.7 | 33.8 | 44.1 | 9.1   |
| 一般  |       |      | 20.8 | 25.0 | 50.0  |
| 電気  |       |      | 50.0 | 50.0 |       |
| 輸送  |       |      | 33.4 | 53.3 | 13.3  |
| 精密  | 4.6   | 18.2 | 31.8 | 31.8 | 13.6  |
| その他 |       |      | 50.0 | 40.0 | 10.0  |

### 2 採算状況

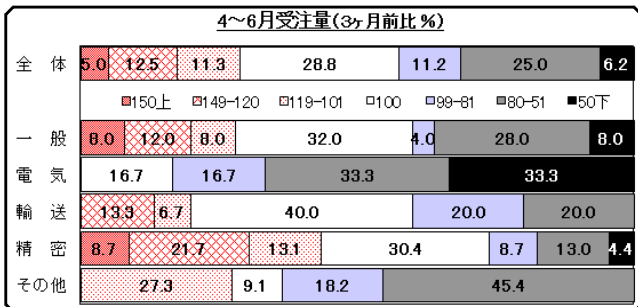
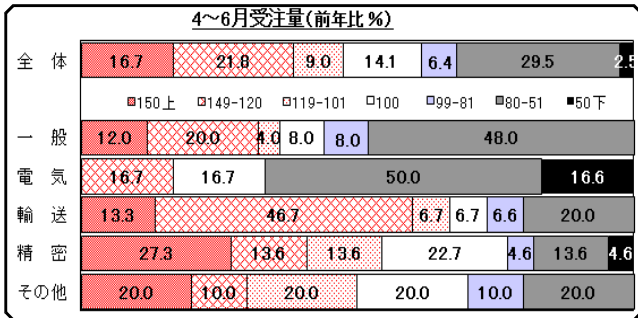
- 4～6月の採算状況は、黒字とする企業が12.5%（前回10.5%）、赤字とする企業は37.5%（同56.6%）となった。赤字とする企業の割合が、半数を下回ったが、黒字とする企業は約1割であり、苦しい経営環境が続いている。
- 業種別では、電気では黒字とする企業が皆無であり、一般では赤字企業の割合が半数を超えている。また、電気を除く4業種の約4割から6割の企業がトントンとしている。

| 業種  | 黒字   | トントン | 赤字   |
|-----|------|------|------|
| 全体  | 12.5 | 50.0 | 37.5 |
| 一般  | 8.0  | 40.0 | 52.0 |
| 電気  |      | 89.3 | 16.7 |
| 輸送  | 20.0 | 53.3 | 26.7 |
| 精密  | 8.7  | 56.5 | 34.8 |
| その他 | 27.3 | 36.4 | 36.3 |

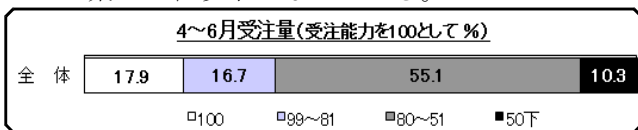
### 3 受注量

● 4～6月の対前年比受注量は、D I値が過去最低となった時期との比較ではあるが、100%以上を確保した企業は61.6%（前回54.0%）と6割を超えた。業種別では、一般・電気を除き3業種で7割以上の企業が100%以上を確保した。

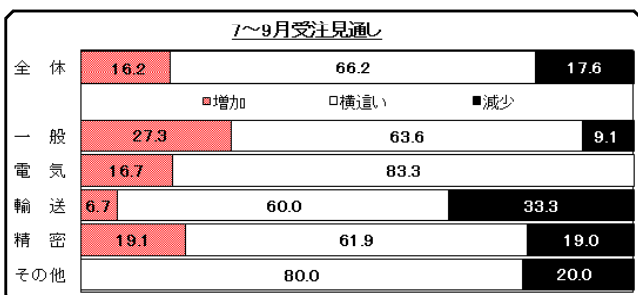
また、対3箇月前比100%以上を確保した企業は、57.6%（同65.0%）と減少した。業種別については、100%以上を確保した企業は、一般・輸送・精密で6割以上となっている。



● 受注能力を100とした4～6月受注量（稼働割合）では、100%とした企業は17.9%（前回21.6%）と減少した。80%以下とした企業は65.4%（同68.9%）となり、業種別では輸送のみで、8割以上の企業が80%以下となっている。

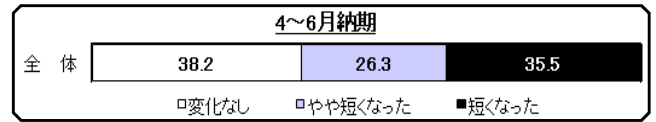
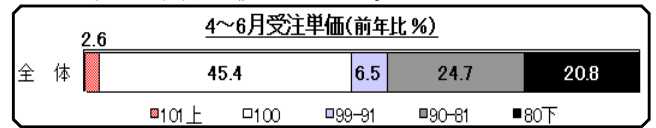


● 7～9月受注見通しでは、増加を見込む企業の割合は16.2%（前回9.5%）と増加した。横這いを見込む企業は66.2%（同68.9%）、減少を見込む企業は17.6%（同21.6%）とそれぞれ減少した。業種別では、その他のみで、増加を見込む企業が皆無となっている。



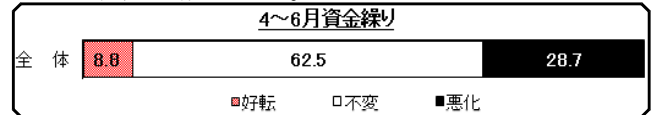
### 4 受注条件（受注単価／納期）

● 受注単価について、下落したとする企業が52.0%（同46.0%）と増加した。納期の短縮については、61.8%（同64.8%）となり、半数以上の企業が厳しい受注条件が続いている。



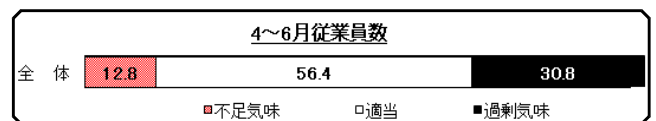
### 5 資金繰り

● 資金繰りについて、好転とした企業は8.8%（前回2.6%）、不変とした企業は62.5%（同57.9%）といずれも増加し、悪化とした企業は28.7%（同39.5%）と減少した。



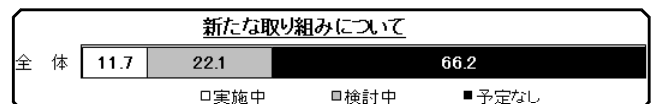
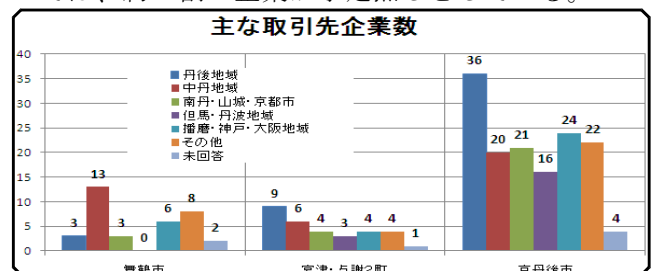
### 6 従業員数

● 従業員数は、不足気味が12.8%（前回6.7%）、適当が56.4%（同52.0%）と増加し、過剰気味が30.8%（同41.3%）と減少している。



### 7 主な取引先企業数（複数回答）・新たな取組み

● 市町別では、地元企業と取引している企業の割合が、各市町ともに最上位となった。新たな取組みでは、約7割の企業が予定無しとしている。



### 8 設備投資

● 設備投資は、「実施中」又は「計画中」とした企業は19.7%（前回22.4%）と減少した。業種別では、輸送で「実施中」又は「計画中」が35.7%であるが、4業種は2割以下となっている。

